

- ② 省エネ設備の導入を支援
- ③ スマホで避難所にチェックイン
- ④-⑤ 特集 スポーツの魅力
体を動かす、その先に
- ⑥-⑧ 街の話題/コラム/お知らせ

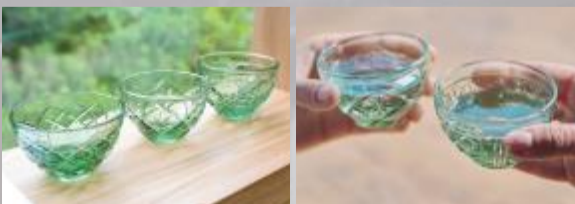
デジタル広報配信 アプリは「マチイロ」「カタログポケット」ネットは「マイ広報紙」

命を吹き込む



七沢切子

廃棄ガラスと七沢石、職人技が生み出した逸品です。



《販売場所》

市まるごとショップ「あつまる」、
青空と大地 七沢温泉 食の市など

溶解炉に囲まれた夏の工房。50年以上にわたって技を磨き続ける吹きガラス職人の山口浩二さん（73）が、吹き竿を巧みに操っています。「ガラスの熱を感じながら、一つ一つに思いを込めて吹いている」。溶けたガラスに優しく息を吹き込むと、その姿はゆっくりと形を変えていきます。

まつかけ台にある工房では、一輪挿しや食器、オブジェなどさまざまなガラス工芸品を制作。吹きガラス体験も受け付け、ものづくりの魅力を伝えていきます。昨年11月には、廃棄ガラスに七沢地区で採掘された石の粉を混ぜ、深い緑色に発色させて作る「七沢切子」を開発しました。地域ブランドとして売り出すとともに、ふるさと納税の返礼品にも選ばれています。

ガラス工芸品は全て手作業のため、大きさや形、表情がわずかに異なります。「見た瞬間に『いいな』と感じてもらえる作品を作りたい」と話す山口さん。一息一息に愛情を注ぎ、新たな作品に命を吹き込みます。

Zoom Up

カーボンニュートラルの実現を目指して 省エネ設備の導入を支援

地球温暖化の原因となる二酸化炭素（CO₂）などの排出を抑制するため、エネルギー使用量の削減や再生可能エネルギーの活用に向けた取り組みを強化。住宅用の太陽光発電設備や蓄電池などの設置に対して費用を補助します。導入を後押しし、環境に優しいまちづくりにつなげていきます。

近年、地球温暖化を背景とする異常気象が懸念されています。市では、原因となるCO₂などの温室効果ガス排出量を実質ゼロにするカーボンニュートラルの実現を2050年までの目標として宣言。住宅向け省エネルギー設備の設置費用などを補助しています。

100万円を超える加算も

各種補助の中で額が大きいのが、昨年度に311件の申請があった太陽光発電設備と蓄電池です。売電せずに自家消費する住宅には、100万円を超える額が加算される場合があります。



太陽光パネルで発電

カーボンニュートラルの補助金

●住宅省エネ設備導入促進奨励金

《補助額》

- 太陽光発電=1万円/1^{キロワット}（上限6万円）
本年度終了自家消費加算=7万円/1^{キロワット}（上限42万円）
- 蓄電池=5万円
本年度終了自家消費加算=蓄電池価格の3分の1
- エネファーム=5万円
- 太陽熱利用=5万円

●省エネ住宅導入促進奨励金

《補助額》

- ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）=10万円
拡充ZEH+またはGX志向型住宅加算=10万円
- 断熱窓改修=最大20万円

●共同住宅用電気自動車充電設備導入奨励金

《補助額》

設備購入費および設置工事費の5分の4（上限150万円）



その他補助金や申請方法などはこちら

加算は国の交付金を活用しており、本年度で終了予定。4月以降に契約したものが対象となります。他にも、断熱窓改修費に最大20万円、年間エネルギー収支が実質ゼロの住宅であるゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）の導入費に10万円を補助。本年度からZEHの基準を上回る省エネ住宅（ZEH+やGX志向型住宅）には10万円を加算し、導入を後押ししていきます（左欄参照）。

共同住宅では、電気自動車充電設備の設置や断熱窓改修の費用を補助。事業者向けには、太陽光発電設備や蓄電池などの設置を支援し、温室効果ガスの削減に取り組める環境を整えています。一歩進んだ設備選びは、未来の暮らしを守る力になります。日々の暮らしを見つめ直し、できることから始めてみましょう。

環境政策課 ☎25-2746

できることから始める

で、環境に配慮した暮らしにもつながっている」と話します。

受講生募集

市内での創業を後押し あつき起業スクール

市内での起業を目指す方が、専門家から経営の基本を学べる講座です。



- 日時 8月22・29日、9月5・12・19日、10月3日（全6回）13～17時
- 会場 厚木商工会議所
- 内容 マーケティング戦略、ビジネスモデルの作成、資金計画などの講義、先輩起業家による体験談の紹介、個別相談など
- 対象 市内で起業予定または起業後1年以内の方40人程度
- 費用 6000円

④産業振興課や公民館、市HPなどにある申込書を直接または郵送、ファクス、Eメールで7月1～31日（必着）に、〒243-0017栄町1-16-15厚木商工会議所 ☎221-2153・☎221-2152・✉kigyuu@atsugicci.or.jpへ。市HPからも申し込み可。選考あり。



詳細はこちら

④産業振興課 ☎225-2832



身近な自然を探索しよう

農大で生きもの探し

東京農業大学の教授や学生と一緒に、生き物を調査してみませんか。 ☎環境政策課 ☎225-2749

- 日時 8月4日 10時～14時30分
- 会場 東京農業大学（船子1737）
- 内容 生き物の調査や解説
- 対象 市内在住在学の小・中学生30人（小学生は要保護者同伴）
- 費用 無料

④電話またはEメールに〒住所、氏名（ふりがな）、年齢、電話番号を書き、7月15日までに環境政策課 ☎225-2749・✉3100@city.atsugi.kanagawa.jpへ。抽選。☺



詳細はこちら



2月に実証実験を実施

Zoom Up

市公式LINEを活用

スマホで避難所にチェックイン

市公式LINEで、災害時に避難所への入退所を受け付けできるようになりました。避難者情報を事前登録しておくことで受付での手続きがスムーズに。万が一に備え、迅速に行動するための準備を進めましょう。

事前登録で効率化

近年、風水害や地震、大雪などの自然災害が激甚化・頻発化する傾向にあります。これまで災害時の避難所では、受付簿への記載が必要で、受け入れまでに時間がかかっていた。市では避難所運営を効率化するため、6月から市公式LINEを活用したスマートフォンによる受け付けシステムを導入しました。

災害時のスムーズな受け付けには、市公式LINEからの事前登録が必要です。氏名や生年月日、住所などを入力すると、二次元コードが発行されます。避難所では、二次元コードを提示するだけで簡単に受け付けができます。介護認定を受けている方や妊婦、アレルギーがある方など、配慮が必要な事項も登録可能。必要な支援と迅速な対応につなげます。他にも、避難所以外で安全を確保している人の位置情報の登録も可能です。現在地を共有することで、市が居場所を把握でき、孤立支援対策などにつなげます。LINEを利用していな

被害が起きる前に対策を

い方には、従来通りの紙による受け付けにも対応します。

災害時に適切な行動を取るためには、ハザードマップを事前に確認し、自宅周辺の災害リスクを把握しておくことが重要です。土砂災害や洪水・浸水などの危険がない場合は、自宅にとどまって安全を確保しましょう。自宅が危険な場合は、避難所や親戚・知人家、車の中など安全な場所へ避難してください。

市公式LINEには、災害時に取るべき行動を整理できる「マイ・タイムライン」や避難時に持ち出す物品が記録できる「防災用品チェックリスト」など、防災に役立つメニューを数多く用意しています。

自然災害そのものは防げませんが、被害を少なくするための備えは可能です。本格的な大雨シーズンを迎える7月。いざという時に慌てないで行動できるよう、事前の備えを確かめましょう。

☎危機管理課 ☎25-2190

情報収集の方法をチェック

災害情報を市HPや公式LINEなどで確認できます。

■市ホームページ

トップページなどに災害情報を掲載。

■市公式LINEアカウント

受信設定すると、防災行政無線の内容が通知されます。

■防災行政無線メールマガジン

事前に登録したメールアドレスに、防災行政無線の内容を配信します。

■テレホンサービス ☎050-5536-7055

防災行政無線の内容を電話で確認できます（通話は有料）。

■その他

tvkデータ放送、市で有償配布している防災ラジオでも災害情報を確認できます。



市公式LINEの避難者情報登録方法

あらかじめ登録しておくことでスムーズに避難できます。



①市公式LINE(@atsugi_city)で友だち登録



②下部メニューから「防災」を選択



③「避難者情報事前登録」を選択



④必要事項を入力



⑤二次元コードが発行

災害時メニュー

災害時は災害モードに自動で切り替わります。



防災士資格取得講座

防災アドバイザーを養成するための講座を開催します。



日時 11月7・8日 8時30分～18時30分

会場 市役所第二庁舎

対象 ①全2日間の講座に参加できる②資格取得後、防災講話や防災訓練へ参加・協力できる③地域の防災リーダーとして活動できる一の全てを満たす市内在住・勤在学の高中生以上56人

費用 無料

☎危機管理課や市HPにある申込書を直接または郵送で7月1日～8月31日(必着)に☎243-8511危機管理課へ。先着順。

防災アドバイザーとは

市独自の新しい制度。防災士などの資格を持ち、防災・減災の知識や経験を生かして地域や学校などで適切な助言や支援を実施。災害時には、初動対応や避難所運営などにも協力します。



詳細はこちら



進むスポーツの聖地づくり

スポーツへの関心や子どもたちの夢につながるよう、トップリーグなどの公式戦を市内で開催。アスリートのプレーを間近で見られる機会をつくっています。

■公式戦の開催

- ブルーサクヤ鹿児島《女子ハンドボール・リーグH》
- ウォルガ湘南 《旧湘南ユナイテッドBC》
- 《男子バスケットボール・B3リーグ》
- アビエル神奈川《女子卓球・Tリーグ》
- マイスター東京《男子卓球・Tリーグ》
- レイア湘南FC《女子サッカー・なでしこリーグ2部》 など

■教室・イベント

トップアスリート卓球クリニック

五輪メダリスト・平野美宇選手たちによる卓球教室

元プロ野球選手による少年野球クリニック

市内出身で東京ヤクルトスワローズで活躍した館山昌平さんたちによる野球教室

あつぎアーバンスポーツフェスティバル

オリンピックたちが参加したスケートボードやBMXなどを体験できるイベント



平野選手が子どもたちに指導



大塚健選手たちによるトークショー

厚木が本拠地のチームを応援しよう

厚木には、市内を拠点にトップリーグを目指すチームがあります。



サッカー 厚木はやぶさFC

Jリーグ昇格を目指し、関東サッカーリーグで活躍中。荻野運動公園で練習を重ね、地域行事への参加やサッカー教室の開催など地域活性化にも貢献。

バレーボール シズカバイキングス厚木

日本バレーボールリーグへの参入が決定した男子チーム。3月に市と協定を締結し、スポーツを通じた地域づくりにも取り組む。



ソフトボール 厚木SC

日本女子ソフトボールリーグに加盟し、全国大会準優勝の実績もある。地域イベントや子ども向けの教室を開くなど、地域に密着しながら活動。



イベントなどの情報を発信 厚木のスポーツ



市内で開催されるスポーツ大会や参加できるイベント、教室などの情報を、市HPで発信しています。競技への参加や選手・チームの応援など、「する」「みる」「支える」スポーツを楽しみましょう。

☎スポーツ魅力創造課 ☎225-2531



小・中学生や高校生約100人の生徒を指導する渡辺さん



教わった走り方を実践

夢中でボールを追う

サッカー経験を生かし、37歳からスクール事業を展開してきた宇野さん。幅広い世代がスポーツに親しめる「総合型地域スポーツクラブ」を市内につくりたいと、2011年に同クラブを設立しました。サッカーや陸上、ヨガなどを通じ、参加者の運動能力の向上だけでなく、心身の成長や地域交流ができる場となっています。

宇野さんがサッカーを始めたのは小学1年生の時です。練習を重ねるたびに上達していく楽しさにのめり込み、大学まで続けました。「うまくいったこともあったし、挫折も経験した。その全てが人生につながって

「サッカーだけでなく、人として大切なことを身に付けてもらいたい」。宇野さんは考える力や姿勢も育むため、あいさつや思いやり、感謝の気持ちといったコミュニケーションを大事にしています。

小学生を中心に陸上を教える渡辺真也さん(38)も、宇野さんと思いを共にする一人です。学生時代の競技経験を土台に、走り方や体の使い方、トレーニング方法などをクラブ設立時から指導。「スポーツって良いなって思ってももらえたらうれい」と、一人一人に合わせた声かけで専門用語を控えた指導など、参加者が苦手意識を持たない工夫をしています。スポーツには、成果や勝敗を超えた

多くの楽しさがあるという渡辺さん。一方で、思い通りにいかない場面も多いことから「目標に向かって繰り返す努力は、将来に必ずつながる。何事にも全力でチャレンジしてほしい」と力を込めます。

「8のピンを倒せば勝ちだ」「惜しい。ドンマイドンマイ」狙い通り。ナイス！。楽しげな声が響く広場に、木と木がぶつかる乾いた音が重なります。木製の棒を投じて笑顔を見せる澁谷智さん(62・上依知)は、厚木・依知北モルック倶楽部の代表です。「活動は、生活の楽しみの一つ」。一年半前に仲間たちとチームを立ち上げ、練習や大会参加などを通じてモルックを楽しんでいます。

経験を未来へ

「8のピンを倒せば勝ちだ」「惜しい。ドンマイドンマイ」狙い通り。ナイス！。楽しげな声が響く広場に、木と木がぶつかる乾いた音が重なります。木製の棒を投じて笑顔を見せる澁谷智さん(62・上依知)は、厚木・依知北モルック倶楽部の代表です。「活動は、生活の楽しみの一つ」。一年半前に仲間たちとチームを立ち上げ、練習や大会参加などを通じてモルックを楽しんでいます。

「仲間たちと腕を磨き合い、健康にもつながられる。モルックを通じ、喜びを分かち合える時間は何よりの財産」。この先も思いを同じくする仲間たちと、木の音が生み出すたくさんの笑顔を広げていきます。

「仲間を思う気持ちや交流も生まれる。うまい下手は関係ない」と、二人は口をそろえます。共に汗を流すチームメイトや指導者、競い合う相手との出会いを通じ、人と人とのつながりを深められることもスポーツの魅力の一つだといいます。

「日々の活動を参加者や指導者たちのやりがいにつながりたい」。子どもたちに、真剣なまなざしを向ける宇野さんは、若い力が可能性を広げる手助けとなるべく、汗を流し続けています。

「仲間たちと腕を磨き合い、健康にもつながられる。モルックを通じ、喜びを分かち合える時間は何よりの財産」。この先も思いを同じくする仲間たちと、木の音が生み出すたくさんの笑顔を広げていきます。

「仲間たちと腕を磨き合い、健康にもつながられる。モルックを通じ、喜びを分かち合える時間は何よりの財産」。この先も思いを同じくする仲間たちと、木の音が生み出すたくさんの笑顔を広げていきます。

「好き」になれる場所に SCDスポーツクラブ

「仲間を思う気持ちや交流も生まれる。うまい下手は関係ない」と、二人は口をそろえます。共に汗を流すチームメイトや指導者、競い合う相手との出会いを通じ、人と人とのつながりを深められることもスポーツの魅力の一つだといいます。

「仲間を思う気持ちや交流も生まれる。うまい下手は関係ない」と、二人は口をそろえます。共に汗を流すチームメイトや指導者、競い合う相手との出会いを通じ、人と人とのつながりを深められることもスポーツの魅力の一つだといいます。

「仲間を思う気持ちや交流も生まれる。うまい下手は関係ない」と、二人は口をそろえます。共に汗を流すチームメイトや指導者、競い合う相手との出会いを通じ、人と人とのつながりを深められることもスポーツの魅力の一つだといいます。

「仲間を思う気持ちや交流も生まれる。うまい下手は関係ない」と、二人は口をそろえます。共に汗を流すチームメイトや指導者、競い合う相手との出会いを通じ、人と人とのつながりを深められることもスポーツの魅力の一つだといいます。

特集 スポーツの魅力

体を動かす、その先に

勝利に向かって汗を流す、仲間たちと楽しむ、選手やチームを応援する。運動が得意な人も苦手な人も、スポーツは私たちの生活に身近な存在です。特集では、地域に根づくスポーツクラブやモルックチームの姿を追い「スポーツが生み出す魅力」に迫りました。

☎スポーツ魅力創造課 ☎225-31

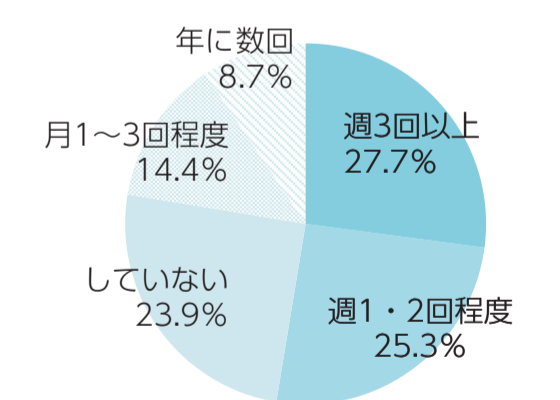
「一投」から生まれる仲間の輪

厚木・依知北モルック倶楽部



真剣にゲームに取り組む厚木・依知北モルック倶楽部の皆さん

市民の運動・スポーツ実施頻度



2024年度市民実感度調査
回答数 2008人
調査期間 2025年1月31日～2月20日



昨年6月のモルックジャパンオープン



いいプレーに喜ぶ代表の澁谷さん



体験会で普及活動にも力を注ぐ

計画的な施設の維持保全を評価

文化会館がベルカ賞を受賞



文化発信拠点として親しまれている

5月25日に開催された表彰式に出席した山口貴裕市長は「市の文化芸術を支える文化会館が評価され、心からうれしく思う。今後、快適な空間を提供し、豊かなまちづくりに努めていきたい」と喜びを語りました。

文化会館が、建物の長期使用における維持保全や優れた改修を表彰するベルカ賞（ロングライフビル推進協会主催）を受賞しました。施設は1978年に大ホールを竣工。2023年から24年にかけて改修し、25年にリニューアルオープンしました。建物の特徴である外壁レンガの補強や照明のLED化などを実施。正面玄関軒先のヒメアマツバメの営巣を保護しながら、耐震性向上と省エネ化を実現した点が評価されました。

市園芸協会が市長を訪問

市内産バラの魅力をPR

市内のバラ農家が6月11日に市役所を訪ね、山口貴裕市長に最盛期を迎えたバラの魅力を紹介しました。



本庁舎1階に飾られたバラ

訪問したのは、市園芸協会花き温室部会バラ部会の内田博夫副会長と難波博文さん。市内のバラ栽培は1964年ごろに始まり、茎にとげを持たない黄色のバラ「ソラーレ」や「サムライ08」「ブロッサムピンク」などを年間16万本ほど生産しています。部会では市立保育園の卒園児にバラやカーネーションの花束を贈呈するなど、市内産花きのPRに力を入れています。

内田副会長は「今年も元気なバラが育った。旬を迎えたバラを楽しんでほしい」と話しています。市内産のバラは、JAあつぎの直売所などで販売しています。



住み続けたい美しいまちを目指して

JTと喫煙のマナー向上と環境整備で協定

岡村真人支社長は「喫煙環境が整備されていけば、マナーを守る方も多くなる。これからの安心・安全で住み続けたいと思われ、まちづくりに貢献していきたい」と話しました。



誰もが快適に過ごせる空間づくりを

日本たばこ産業（JT）神奈川支社と5月18日、喫煙に関するマナー向上や環境整備に向けた協定を締結しました。市では2003年に路上喫煙禁止などを定めた「みんなで守る美しい環境のまちづくり条例」を制定。10年からは、本厚木・愛甲石田駅の周辺を路上喫煙禁止区域に指定しました。近頃の駅前における喫煙マナー悪化を受け、昨年12月に条例の一部を改正。来年4月からは、違反者に過料を科すことなどを規定しました。

相模川に多くの太公望

6月1日からアユ釣りが解禁

相模川水系でアユ釣りが6月1日に解禁され、市内外から訪れた多くの釣り人でにぎわいました。



アユ釣りを楽しむ太公望

解禁となったこの日、伝統的なコログシ釣りを楽しんだ相原達雄さん（78・水引）は「毎年、解禁日を楽しみに来ている。今年は大きいから小さいのまでさまざま。60年近く釣りをしていて、自分で考えながら釣るのが楽しい」と話しました。

解禁前の5月23日には相模川漁業協同組合連合会（岸浪孝志会長）が試し釣りを実施。アユは19センチほどで成育は上々とのこと。アユ釣りには遊漁券が必要で、10月14日（一部は31日）まで楽しめます。

みんなの力でまちを元気に

あつぎの市民活動

ボランティアなどの社会貢献活動を支援するため、市民活動団体の登録制度を導入しています。連載では健康・スポーツ・文化芸術・福祉など、さまざまな分野の市民活動団体を紹介していきます。

6 手話サークルあゆの会

聴覚障がい者への思いやりや理解を深めるため、保健福祉センターで手話を学んでいます。今年で49年目を迎える会では、100人ほどの会員が活動しています。

それぞれのレベルに合わせて日常会話の基本を学ぶ手話の勉強会、入門講座なども開いています。

手話は、耳が聞こえない人々と話せることが魅力の一つです。誰もが不自由なく会話できるよう、これからも活動を続けていきます。



昼と夜の部に分かれて活動

団体の詳細や問い合わせを希望する方は市民協働推進課 ☎225-2101へ。

団体の一覧はこちら



小学生に消防に関するさまざまな活動を体験してもらう「少年消防クラブ」が6月から始まりました。市内に住む4から6年生までの男女55人をクラブ員に任命し、訓練や啓発活動への参加を通して、消防や防災への理解を深めてもらいます。

災害に強いまちづくりには、高い地域力が必要です。こどもたちには普段の生活からは得られない経験を通じて、地域防災の担い手としての資質を養って、地域防災の担い手としての資質を養って、他にも防災士の養成などに取り組み、年齢を問わない地域防災力の向上を目指してまいります。



発足式に参加したクラブ員たちと

設。地域の防災リーダー、将来の消防職員、消防団員の育成を目的としています。14日の発足式では、代表クラブ員に会員証とワッペン、クラブ旗を手渡しました。向かい合った時の真剣な表情からは、これからの活動に対する期待と使命感が伝わってききました。礼式と救命救命の訓練も行い、心肺蘇生法を熱心に学ぶクラブ員たちの吸収力は目を見張るものがありました。

タウンガイド

7月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

8月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

☑=申し込み ☎=問い合わせ ☎=電話番号
 ㊚=ファクス番号 ✉=Eメール HP=ホームページ
 🗂=講座予約システム
 愛TV 7/1~ =市広報番組あつぎ愛テレビ
 市役所への郵便物は「〒243-8511〇〇課」で届きます。

あつぎのしゃしん。



「あじさい階段」

#6月4日撮影
 #アジサイ
 #七沢森林公園
 #niceatsugi
 市公式インスタ
 グラムで公開中



あつぎストリートフェス (市民協働提案事業)

7月①12日、12時30分～13時30分
 ②18日、17時30分～19時30分。中町花の公園。ミュージシャンによるストリートライブ。無料。☑不要。☎文化魅力創造課☎225-2508。

応急手当普及員講習会

7月28～30日(全3回)、9～17時。睦合分署。事業所や地域などで応急手当の方法を教える資格の取得。市内在住在勤在学中で18歳以上の方30人。3960円(テキスト代)。☎電話で7月1～9日に救急救命課☎223-9365へ。抽選。🗂

リサイクル施設の見学会

8月18日、8時～16時30分。中央防波堤埋立処分場(東京都)。市内在住の小・中学生の親子35人。500円。☎直接または電話、Eメールに代表者の〒住所、参加者全員の氏名、こどもの年齢、電話番号を書き、7月31日までに資源循環推進課☎225-2793・✉3300@city.atsugi.kanagawa.jpへ。抽選。

斎場施設見学会

7月12日、10時30分～12時。市斎場。施設見学と葬儀の説明。定員30人。無料。☎電話で7月1～11日に市斎場☎281-8595へ。先着順(申込者が3人以下の場合は中止)。

あつぎミュージックフェスティバル オーディション2次審査の観覧者募集

7月19日、14～16時。あつぎ市民交流プラザ。新人シンガー発掘オーディションの観覧。定員30人。無料。☑不要。先着順。☎文化魅力創造課☎225-2508。

後期高齢者医療制度 保険料率などを改定

「子ども・子育て支援金制度」が開始し、従来の保険料に追加されます。対象者には7月中旬に納入通知書を発送します。

- 後期高齢者医療改定分
《均等割額》5万2531円 《所得割率》10.30% 《上限額》年額85万円。
- 子ども・子育て支援金加算分
《均等割額》1330円 《所得割率》0.25% 《上限額》年額2万1000円。

あつぎ協働大学特別講座

保育入門講座

湘北短期大学の学生と一緒に、大学の授業を受けられます。☎生涯学習課☎225-2512

日時 8月7・24日 10～12時
 会場 湘北短期大学(温水428)
 内容 保育士・幼稚園教諭の仕事、身体表現に関する授業
 対象 保育園・幼稚園の仕事に興味がある市内在住の中学・高校生20人
 費用 無料

☎7月24日までに、市HPにある電子申請システムから申し込み。抽選。



詳細はこちら

手軽で便利に コンビニ交付サービス

マイナンバーカードを持っている方は、マルチコピー機があるコンビニエンスストアで、一部の証明書を取得できます。



☎詳細はこちら

証明書の種類	手数料	時間
住民票の写し	300円	6時30分～23時
印鑑登録証明書		
市・県民税(課税・非課税)証明書		
戸籍の附票の写し	450円	9時～19時30分(平日)
戸籍謄本・抄本		

☎市民課☎225-2110 (税証明書は市民税課☎225-2012)

☎国保年金課☎225-2223。

介護保険負担割合証 7月中旬に発送

要介護・支援認定を受けている方、総合事業の対象者へ送付します。新たな申請者には、結果通知と併せて発送します。

《適用期間》8月1日から1年間。
 ☎介護福祉課☎225-2393。

心身障害者福祉手当 7月21日に振り込み

支払い通知書は送付しないため、通帳などで振り込みを確認してください。☎障がい福祉課☎225-2221。

荻野運動公園体育館と 玉川野球場の名称を変更

ネーミングライツ(命名権)を導入し、7月1日から施設の名称が変わります。荻野運動公園体育館=シティアクセス相模スポーツホール、玉川野球場=玉川トリスポート球場。☎行政経営課☎225-2160。

住まい探し相談会

7月17日・9月18日・11月20日・2027年1月15日・3月19日、13時30分～16時。

あつぎ市民交流プラザ。住まい探しの支援。住まいを探している高齢者、障がい者、低額所得者、外国籍の方など各回5組。無料。☎開催日の2日前までに住宅課☎225-2330へ。

みんなの声で つくる まち

《意見交換会》

■DX推進計画の策定

7月23日、19～20時。市役所本庁舎。☎7月15日までに電話または市HPにある電子申請システムへ。☎DX推進課☎225-2459。

■福祉に関する3計画の策定

7月28日、19時～20時30分。市役所第二庁舎。①地域福祉計画(第7期) ②障がい者福祉計画(第8期) ③高齢者保健福祉・介護保険事業計画(第10期)。☎電話またはファクス、Eメールに〒住所、氏名、電話番号を書き、7月17日までに地域包括ケア推進課☎225-2200・☎221-1640・✉1910@city.atsugi.kanagawa.jpへ。市HPにある電子申請システムからも申し込み可。

厚木市 市民参加

検索

和田傳短編集第2巻を刊行

記念講演会を開催

第2巻「哀歓で彩る女性たちの物語」の刊行を記念し、和田傳文学の研究者による小説をテーマとした講演会を開催します。



名誉市民で作家の和田傳氏

●講演会

日時 8月8日 13時30分～15時30分
 会場 あつぎ郷土博物館
 内容 作品の紹介や解説など
 定員 50人
 費用 無料

書籍を販売

発売日 7月1日
 販売場所 あつぎ郷土博物館、市政情報コーナー
 価格 230円

☎電話またはファクスに〒住所、氏名、電話番号、参加人数を書き、7月31日までにあつぎ郷土博物館☎225-2515・☎246-3005へ。抽選。🗂

インターネットモニターからの意見を紹介



インターネットモニター募集
 厚木市 インターネットモニター 検索
 ☎広報シティプロモーション課☎225-2043

6月1日号「広報あつぎ」を読んで

- ◆厚木にフクロウがすんでいるのが驚き/30代女性
- ◆高齢者や女性を支援する取り組みが素晴らしいと思った/70代男性
- ◆「かなちゃんパスの助成があるならバスで出かけた」と親が言ってくれたうれしかった/40代男性
- ◆厚木の自然を改めて大切にしたいと感じた/50代女性
- ◆実際に足を運んで植物や鳥を観察したい/70代男性
- ◆日々の食生活を見直す良ききっかけになった/40代女性

編集後記

学生時代、野球に打ち込んでいました。当時は深く考えていませんでしたが、その傍らには仲間がいて、15年以上たつ今でも交流が続いています。取材で印象に残ったのは、スポーツが持つ「人と人をつなぐ力」です。勝敗の喜びや悔しさを分かち合う仲間、成長を共にする仲間。技術の向上だけではない多くの魅力があるからこそ、スポーツが私たちの暮らしに根付いているのだと感じました/森

10月2日全国ロードショー

市制70周年記念映画 先行上映会

日時 9月13日 ①11時～ ②16時～
会場 文化会館
鈴木京香さんらも登壇！



多くの市民の皆さんが出演し、全撮影を市内で行った映画「キリコのタクト～YELL～」の先行上映会を開催します。
☎企画政策課 ☎225-2450

- 内容** 鈴木京香さんら出演者と雑賀俊朗監督の舞台あいさつ、映画の上映
- 費用** 無料
- 対象** 市内在住在勤在学の方各回1000人

市HPにある電子申請システムまたは市役所や公民館にある申込書を直接または郵送で7月1日～8月7日に〒243-8511 企画政策課へ。市公式LINEからも申し込み可。抽選。



詳細はこちら

あらすじ

特集企画「伝説の音楽教師」の取材を任された音楽出版社勤務の北村翔(藤原大祐)は、取り上げる音楽教師が高校時代の恩師・原田貴理子(鈴木京香)だと伝えられる。全国合唱コンクールで数々の賞を獲得した「優勝請負人」。しかし、貴理子は現在、消息不明だという。

貴理子の足取りを追うべく、母校を訪ねた翔。有力な手掛かりが得られない中、合唱部員だった同級生たち(井頭愛海、田辺桃子、西垣匠)と再会する。貴理子に救われた経験を持つ教え子たちは、彼女の素顔や隠されていた謎に迫っていく。

キャスト(敬称略)

鈴木京香、藤原大祐、井頭愛海、田辺桃子、西垣匠、榊原郁恵、小西博之、大島さと子、四方堂 亘、小泉今日子、宅麻伸、名取裕子



市内の学校などで撮影



演技指導を受ける市民キャスト

自然歳時記

●ベニスズメ●
スズメガ科

体長28～32mmほどの大型のガ。イモムシのような幼虫時は重いですが、成虫になると夜間に樹液や蜜を探して飛ぶため12mmほどに軽くなる。愛名の水の染みる林縁で見つけた。
写真・文 / 吉田文雄



ガは、夜間にクヌギの樹液や花の蜜に集まる習性がある。ベニスズメも、夜に咲くオオマツヨイグサなどの蜜を吸っている。

幼虫の食べ物は、ツキミソウやホウセンカ、ツリフネソウなどの葉。山奥ではなく、身近な林縁や開けた草地に生えている植物であ

る。これらの植物に産卵し、ふ化すると葉っぱがなくなるくらいモリモリ食べる。大きいものでは7cmほどに成長し、さなぎに姿を変えて淡赤褐色の美しい成虫となる。

左右対称の模様が美しく、暑さしのぎのために涼しい水場にいた姿に虫の賢さを感じた。

厚木市の人口
(6月1日現在)



世帯数 10万8049世帯 (前月比120世帯増)



人口 22万2332人 (前月比19人増) 男11万4633人・女10万7699人